



創業100周年に向けて

明治屋産業 8 の指針



原点回帰

チャレンジを楽しもう！

常にチャレンジャーであり続けよう。

明治屋産業は長い歴史の中、

多くの失敗をかさねてきた会社です。

それは同時に多くのチャレンジャーがいた証拠でもあります。

今日の明治屋産業があるのは多くのチャレンジがあったから。

チャレンジなくして成功なし。

明治屋産業はいま一度原点に立ち返り、

挑戦をたええる社風に生まれ変わります。

最初の一歩は小さなチャレンジでもかまいません。

恐れず実践してみてください。



真面目に、 真っ直ぐに

明治屋産業の社是に

「誠実」「信頼」「信念」があります。

私たち、明治屋産業で働く仲間の中で

当たり前の言葉です。

しかし、これら3つを完璧に行うには

常に高いモチベーションで仕事に向き合わねばなりません。

簡単そうで実にむずかしい。

お客様はもちろんのこと、同僚、上司、部下から

信頼される人を目指しましょう。

「食」を取り扱うプロとして常に真面目に、真っ直ぐに。

私たちの理想の姿です。



売ってなんぼ

昔の明治屋産業では

「売ってなんぼ」という言葉が大切にされ、
工夫を凝らして競合他社に打ち勝ってきました。

例えば、創業者である故谷尾欽也会長は、

店内にピラを下げたり、

トレーパック商品でセルフ販売を行なう等、

当時の精肉店がしなかった販売手法を行い、

“売るために何ができるか”を日夜熱心に研究されていました。

この「売ってなんぼ」の精神を、

いま一度従業員一人ひとりが心に刻み、

“売るために今何ができるのか”を考え抜き

商売に取り組んでいきましょう。

そして、一人でも多くの明治屋産業ファンを増やしましょう。



壁を越えろ！ チカラを一つに

明治屋産業には様々なプロフェッショナル、

個性豊かな従業員がたくさんいます。

皆の力を一つひとつ発揮することができれば

ものすごい力となります。

その為にはスタッフ一人ひとりの能力を

あますことなく発揮する必要があります、

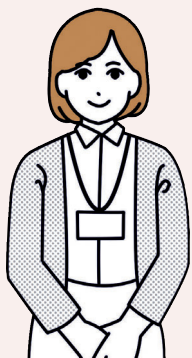
事業部間、部署間、上司、部下、パートさん、

全員が協力し合う必要があります。

壁は存在しません。皆、同じ明治屋産業です。

ぜひ、皆で手を取り合い

強い会社を作っていきましょう。



As One.

一つになる。



待ちをやめ、 自ら考え動こう

「上司からの指示待ち」、
「部下の実行待ち」等、
業務上の様々なシーンにおける“待ちの姿勢”は
時間を無駄に浪費してしまい、
生産性がいちじるしく落ちてしまいます。
これから100周年に向かう明治屋産業の従業員は
立場は関係なく、
自ら率先して考え行動してください。
能動的に皆が動けば飛躍的に効率・業績が上がり、
報酬としてお返しできる好循環が生まれていきます。



パパパーツと サッサやろう！ (要領よく、急いでやろう)

故谷尾欽也会長はよくこの言葉をおっしゃられていました。
仕事も決断もスピードが非常に大切であるという金言です。
めまぐるしいスピードで変化している現代社会では、
ひとたび取り残されると
競合他社との差は致命的に開いてしまいます。
全従業員がこの金言を胸に、
日頃の業務、会議、商談、経営、決断、
全てのスピードを上げ仕事に臨んでください。
それが私たちが100年目を迎えられるか否かの
重要な鍵となります。



幸せを 追求しよう

食の販売を通してお客様はもちろんのこと、
自分、家族、同僚、お店のある地域の方々、
そして、明治屋産業に関わる
全ての人々の幸せを追求してください。
その気持ち、行動をもってこそ、
お客様に楽しさ、嬉しさ、喜び、
夢のある食生活を提供することができます。
また、食品販売の基本となる商品の安心・安全に務め、
表示、品質、鮮度を徹底して守っていき
地域社会と共に持続可能な社会の実現に向け
一人ひとりが意識して取り組んでいきましょう。



100周年を担う 人財を

明治屋産業にとって従業員は
一番の武器であり大切な財産です。
あなたが受け継ぎ培ってきた
技術、知識、ノウハウを惜しみなく後進に渡し
100周年の明治屋産業を背負うに足る
人材を育てましょう。
そして、いつの日かあなたが定年を迎えるとき、
自信を持ってバトンを渡して欲しいと思います。